

# 臺灣の木材資源

## 寺坂穀

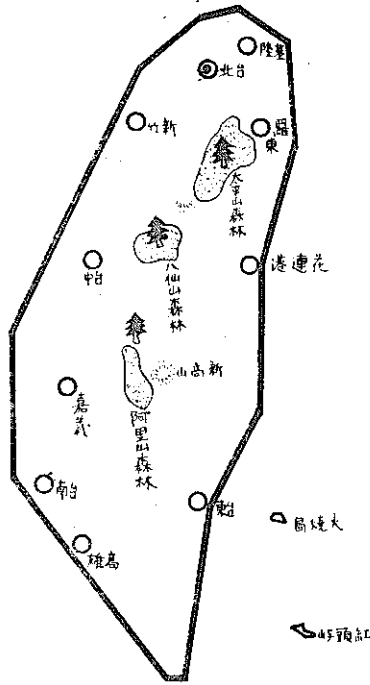
臺灣は由來高山國の名があるやうに、高山峻嶺起伏重疊し、林野の面積は全土の約七割を占め、本邦第一の高山で有名な新高山を始め、海拔一萬尺を超ゆるもの實に四十八座、五千尺以上のもの無數である。従つて臺灣の森林は立體的に熱帯林、暖帯林、温帯林、寒帯林の各帶具はり特有森林状態を呈し、蕃地の間には今尙翳鬱として星霜幾千年現代稀に見る一大美林が存し、木材の寶庫をなして居る。其の主なるものは南部には天武山より恒春半島の脊梁をなす中央山脈一帯の大森林があり、中部の西面には阿里山より新高山の西北面に連る針葉樹及潤葉樹の大森林と之に相對する鬩大山の大森林がある。臺中州には八仙山の代表たる大甲、大安諸溪に連る大森林あり、更に東部には馬太鞍、マリバン、チャカン諸溪流を包容して木瓜溪に至る一帯の森林がある。是等の森林の利用開發には總督府は、阿里山、太平山、八仙山に官行斫伐事業が經營され嘉義、羅東、豐原に營林所を設け、貯材、製材を行つてゐる。

**阿里山** は嘉義市を距る東方七十二軒、北緯二三度半の位置にあり臺灣背梁山脈の中樞新高山の西に連る一團の森林であつて、地味氣候能く植物の生育に適し、長幹、美材の翳鬱たる千古の一大天然林

である。是等の地域に包藏されてゐる立木材積は針葉樹〇〇〇萬立米、潤葉樹〇〇萬立米で針葉樹中扁柏、紅檜が最も多い。次に亞杉梅、姫子松等にて總蓄積の一割餘で是等は所謂阿里山五木と稱せられる有用樹種である。潤葉樹には槲類、柯類、楠仔、烏心石等の良材がある。

**太平山** は臺北州羅東郡に屬し、羅東驛を距る西南約四八軒で濁水溪の兩岸に沿ふた一帯の森林で、中央山脈北方の霸主南湖大山より西はピヤナン鞍部を経て桃山附近より臺中及新竹州の界を北に走り樓蘭山、拳頭母山を経て宜蘭郡の一部に跨つて居る、蓄積針葉樹〇〇〇萬立米、潤葉樹〇〇〇萬立米にして阿里山の大森林を遙かに凌駕してゐる。蓄積の二分の一以上を占める潤葉樹は大量にいまだ其の利用の途が開けてない。針葉樹には扁柏、紅檜最も多く亞杉、香杉、梅、唐檜之に亞ぐ、就中扁柏は針葉樹中の約八〇%を占め蓄積の豊富なること三事業地中第一である。

**八仙山** は縱貫鐵道の豐原より大甲溪に沿ひ廻ること四八軒中央山脈の中部合歡山より西に分岐せる支脈中の最高峰白姑大山の西方ルピン山、キルン山、八仙山一帯の森林帶で扁柏、紅檜、姫子松、香



杉を主とする。八仙山森林は阿里山森林に比すれば林相密ならず、尚樹齡比較的若き關係で材木の直径小なれども根上り連根、瑕疵等は極めて少ない。

以上の三大事業地を通じ年約〇〇千立米を伐出して居るが樹種は扁柏、紅檜を主とし、扁柏は總出材量の六三%、紅檜は二三%、残りの一五%は香杉、亞杉、梅、姫子松、唐檜類である。

**扁柏** は幾多の特質を有し古來我國に於ては木材の王と稱せられ重用されて居る。臺灣産扁柏は單に「臺灣檜」の名により知られてゐる、比重は木曾檜より幾分重く色は僅かに赤味を帯び、大徑材に富むため大なる眞去材を得らるゝこと到底木曾檜の及ばざる特徴を有し、耐力強く、木色清楚、木香高雅、木理整然とし木質も亦硬軟適度で殊に耐久耐蟻性に富む、扁柏には含有「クレオソート」分豊富

・臺灣島三大森林帶

なるため白蟻其他の害蟲に侵さるゝことなく橋梁、車輛、船舶、艦船用材として適當にて南方移出木製品には好適材である。

**紅檜** は臺灣特有の樹種で檜類の一種である。扁柏に比すれば幾分赤味多く質も亦多少輕軟ではあるが扁柏同様の用途に適す。

**香杉** は廣葉杉の一種で本理九州屋久杉に類似し古雅芳香は内地杉に優るものあり耐濕性、耐蟻性に富む。

**亞杉** は世界に類を見ない臺灣特有の木材で直径二米乃至三米以上に及び樹高六〇米に達するもの少しとせず、強度は扁柏につき耐蟻性強く色は紅暗褐色を呈し雅致あり家具用裝飾材として賞用される。

**姫子松** は五葉松の一種で材色淡紅を呈し、質柔軟、緻密で反曲割裂少く低廉で用途廣汎である。

**桐** は亞杉と同様な性質を有し八仙山より産出のもの最も優秀である。

**唐檜** は本理通直光澤に富み包装箱、車輛、建築、鉛筆材、箸用材に適す。

**樟、椎** は材質堅硬緻密で弾力と靱力に富むために車輛用材、船舶用材、軍部用材其他各種の把柄用材として用ひらる。

臺灣島内各地には硬軟各種の木材多數植生し、船舶用リグナムバイダ材の代替材となるべき毛柿、ランシン木の硬材や單寧を含む相思樹黃麻樹等の戰時下有用材が自生繁茂し、林道の開拓を待ち此等の未利用材の開發に大なる期待をもつものである。

(筆者は本所研究部長)